

# 国際交流拠点から



新潟日報社が開設した米ニューヨーク(NY)、ブラジル・サンパウロ、中国・上海、欧州(パリ)の国際交流拠点などを通じ、海外で暮らす本県関係者から現地の様子をレポートしてもらい、毎月第1月曜日に紹介しています。また、新潟日報ホームページ「モア」にも掲載し、感想や意見を受け付けています。

第1月曜掲載

f r o m

上海



松井 明さん

|| 上越市出身 ||



地下鉄2号線東昌路駅付近のビジネス街。多くの人や車でにぎわう

地下鉄の駅からあふれんばかりの人が出てきて、超高層ビルに吸い込まれていきます。道路にもたくさんの車やタクシー、バスが走っており、信号が青になると一気に流れていきま

## 街のマナー 劇的向上

車はほとんどありません。車は下鉄で席が満席だと「ここに座電気自動車が多く、自転車に代わり電動バイクが主流です。朝の通勤ラッシュは驚くほど静かです。

上海の友人に聞くと、ここ5〜6年で街は劇的にマナーがよくなってきました。国を挙げてマナーの向上に努めており、地下鉄に乗っても啓発文が掲示されていたり、車内モニタリではアニメで禁止行為が分かりやすく説明されていたりします。

上海は地方からも多くの人が仕事を求めて移住しています。その中で、代々上海に住んでいる人を「上海人」と呼びます。上海人はとても優しく世話好きです。私たち家族も上海に赴任したところ、困っていると何度も見ず知らずの上海人に声を掛けられ、助けてもらいました。

中国の方は特に子どもとお年寄りを大切にします。例えば地

今、新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るっています。中国は一時期のひどい状況は脱しましたが、第2波、第3波を警戒して、感染症対策を継続しています。一日も早く感染が収束して、県産米が店頭に並び、新潟の名前がさらに広く知られることを願っています。

(松井さんは1972年生まれ。文部科学省在外教育施設派遣教員として、上海日本人学校浦東校に勤務しています)